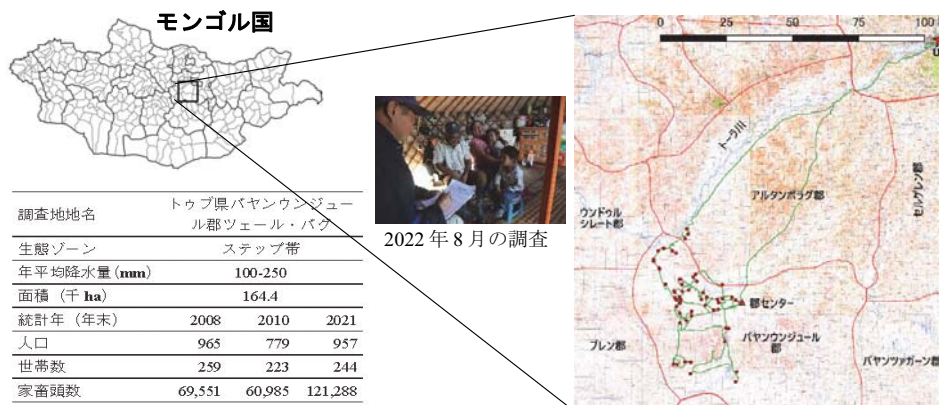


おあしす

モンゴルの移動牧畜—過去 10 年間の変化から 上村 明 (2023) : 沙漠研究, 33 (1) : 67-76.



2011 年と 2022 年に行った世帯調査の結果を比較した。約 10 年間で村の家畜頭数は倍増したが世帯数はそれほど増えておらず、世帯当たりの所有家畜頭数が増加した。

	年	2011	2022	* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$
世帯代表者年齢		43.6	46.8	0.04379*
世帯の人数		4.1	4.3	0.1706
世帯の労働人数		2.1	2	0.3487
ホトアイル構成世帯数		2.2	1.5	0.0001561**
単独世帯率 %		26.5	49	0.004005**
所有家畜頭数		398.4	657.3	6.12E-06**
所有家畜頭数 SFU		599.3	972	3.24E-05**
飼育家畜頭数		838.6	914.6	0.2526
3 年間の移動回数		13.4	14.8	0.06694
3 年間の移動距離合計 km		197.5	265	0.0309*
≥ 50 km 移動 %		22.4	45.1	0.007578**
≥ 100 km 移動 %		14.1	27.5	0.09341

その結果、単独で牧畜を営む世帯が増え、営地が不足して、長距離移動が増えた。



一方、世帯収入も増え、9 割の世帯が自家用車を保有するようになり、移動が楽になった。写真は韓国製トラックとトレーラー。



多くの牧畜民は牧地の悪化を認識しているが、バイオマス自体は減らず、家畜が好まない草が増えた。写真手前の白い草は、*Artemisia adamsii*。家畜は食べない。



長距離移動の必要性は、牧地に対して私的所有権ではなく共同使用权のような、移動のしやすい権利を土地法制に求める傾向を生んでいる。

乾燥地農学分科会講演会のご案内

日本沙漠学会乾燥地農学分科会会長
石川 祐一

乾燥地農学分科会では、下記のとおり講演会を開催いたします。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

-
- 主催：日本沙漠学会乾燥地農学分科会 共催：日本海水学会環境・生物資源研究会
 - 日時：2023年11月24日（金曜日）13：00～17：05（受付12：30～）
 - 開催方法：ハイブリッド式（対面＋Zoom視聴）
 - 開催場所：千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館614教室
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1
 - 参加費：無料
 - 開催趣旨：
日本沙漠学会乾燥地農学分科会では、毎年乾燥地農学に関する講演会を開催しています。
今年度の講演会では乾燥地農学の原点に立ち返り、沙漠に「ない」モノをいかに克服するか、日本の技術の当てはめを改めて考えてみます。皆様のご参加をお待ちしております。
-

「乾燥地農学の原点：日本人の考える沙漠の「ない」を活かすには？」

講演会次第（予定）

-
- | | |
|-----------------|--|
| ★ 12：30 - 受付 | |
| ★ 13：00 - 13：05 | 開会の辞 田中 徹氏（日本沙漠学会副会長） |
| ★ 13：05 - 13：45 | 講師 矢沢勇樹氏（千葉工業大学 工学部 准教授）
「沙漠においての万能な反応場 “腐植物質”を増産するアイデア」 |
| ★ 13：45 - 14：25 | 講師 神田 峻氏（水ing エンジニアリング（株）ソリューション営業部）
「下水道からの地域資源循環の構築」 |
| ★ 14：35 - 15：15 | 講師 大島義徳氏（（株）大林組 未来事業創造部 課長）
「微細藻養殖の実例と半乾燥地への適用についての考察（仮）」 |
| ★ 15：15 - 15：55 | 講師 水野恒雄氏（（株）ニソール 技術顧問）
「植物発電－その原理と応用－」 |
| ★ 16：00 - 17：00 | 全体討論
モデレーター 石川祐一氏（日本沙漠学会乾燥地農学分科会会長）
パネラー 矢沢勇樹氏、神田 峻氏、大島義徳氏、水野恒雄氏 |
| ★ 17：00 - 17：05 | 閉会の辞 平賀義彦氏（日本沙漠学会乾燥地農学分科会副会長） |
-

※ 14：25 - 14：35 ブレイクタイム

●参加費 無料（ただし、資料代1,000円）

学会ウェブサイトもしくは電子メールから、①氏名、②TEL、③E-mail、④所属、⑤参加形態（対面 or Zoom 視聴）をご記入の上、事務局宛にお送りください。折り返しZoomのURLをお送りします。

[申込先] 事務局：（担当：石川）

E-mail cadal_jaals@kyouritsu-online.co.jp

【URL】 <http://www.jaals.net/>

日本沙漠学会 令和5年度秋季シンポジウム & 沙漠工学分科会 第34回 講演会のお知らせ

沙漠工学分科会では、第34回講演会を日本沙漠学会令和5年度秋季シンポジウムとして下記の日程で開催いたします。テーマは「熱帯沙漠の国ジブチの環境・エネルギー・農牧業の研究最前線」です。この度は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）の研究課題である「ジブチにおける広域緑化ポテンシャル評価に基づいた発展的・持続可能水資源管理技術確立に関する研究」の進捗や成果を報告するものです。対面とZoomオンライン配信でのハイブリッドで開催いたしますので、皆様、奮ってご参加ください。なおこの講演会は、東京農業大学沙漠に緑を育てる会および東京農業大学総合研究所研究会沙漠緑化研究部会との共催です。

令和5年11月8日

沙漠工学分科会長 田島 淳

記

日 時：令和5年12月9日（土）13：00～17：00

開催方法：対面とZoomオンライン配信でのハイブリッド開催

会 場：東京農業大学 世田谷キャンパス 国際センター 2F 榎本ホール

Zoom URL：https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZ0vdO6vrjopHtbm2I196pM98O_X8uzZCApF

参加費：無料

共 催：東京農業大学総合研究所研究会沙漠緑化研究部会および沙漠に緑を育てる会

プログラム

開会挨拶：島田沢彦（日本沙漠学会 副会長／東京農業大学）

発 表：

GETFLOWS を用いたジブチ全土の地下水流動系の把握

寄立 徹（オリエンタルコンサルタンツグローバル）

UAV 画像データを用いたジブチにおける土地被覆環境の把握

関山絢子（東京農業大学）

ジブチ農業における自然エネルギーを利用したポンピングシステムの変遷と提案

田島 淳（東京農業大学）

ジブチ農業における廃棄物利用の可能性

大山修一（京都大学）

乾燥地での土壌改良と温暖化対策への外来種の活用に関する検討

伊藤 豊（鳥根県立大学）

ジブチにおける降雨量への夜間光の反応

山本裕基（関西大学）

閉会挨拶：田中 徹（日本沙漠学会 副会長／ネオファーマージャパン）

司会進行：鈴木伸治（沙漠工学分科会幹事／東京農業大学）

※講演会終了後に懇親会を予定しています。こちらもご参加ください。

※会場までの案内はこちらを参考にしてください。 <https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>

問い合わせ先 東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科

分科会 幹事 鈴木伸治 E-mail：s4suzuki@nodai.ac.jp

日本沙漠学会 第35回学術大会のお知らせ（第一報）

1. 大会予定概要

【日時】2024年5月11-12日（土-日）

【会場】文教大学東京あだち校舎（学術大会／公開シンポジウム）

<https://www.bunkyo.ac.jp/access/adachi/>

【公開シンポジウム】後日お知らせいたします。

2. 研究発表申し込み

【発表申込 Web ページ】

<https://forms.gle/7bY1ev486GbU5oJo8>

発表申し込み締め切り：2024年2月29日（木）

要旨締め切り：2024年3月30日（土）

【口頭発表】オンサイト会場での口頭発表

【ポスター発表】オンサイト会場でのポスター掲示

発表形式は口頭もしくはポスターのいずれかとなります。

3. 参加申し込み（総会出欠確認）

【参加申込】後日お知らせいたします。

4. 事務局

第35回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

〒121-0061 東京都足立区花畑5丁目6-1

文教大学国際学部・准教授・渡邊三津子 [委員長]

E-mail: jaals2024@gmail.com

Phone: 03-5686-8577（代表）

詳細はホームページ <https://www.jaals.net/> をご覧ください。

2023 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 森尾貴広
学会賞審査委員会委員長 的場泰信

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞，学術論文賞，進歩賞，奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領でご推薦下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的，実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽の研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は，原則として当該年度において 35 歳以下の会員とする。なお，35 歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には，その理由書を添付する。

2. 推薦期限 **2024 年 2 月 29 日（木） 当日消印有効**

3. 推薦方法

以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお奨励賞のみ，推薦に加えて自薦も可としますが，その場合には，本人の業績について照会可能な 2 名以上の所属・連絡先を添付してください。

- (1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合
様式 1 の推薦書 1 部
推薦に関する資料 1 組
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合
様式 2 の推薦書 1 部
推薦に関する業績 1 組

4. 宛先（照会先）

〒 263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33 千葉大学文学部
日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 兎玉香菜子
E-mail : kodamaknk@faculty.chiba-u.jp

5. その他

応募された書類は返却しませんので，必要な場合は写しを保管下さい。

なお，過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ (<http://www.jaals.net/>) をご参照下さい。

様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用) 令和 年 月 日

日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用) 令和 年 月 日

日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

著者名（共著の場合は全員）、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

-----記入上の注意-----

- 1) 書 式 A4 縦置横書き、明朝体 12 ポイント、上下左右マージン 2.0cm 以上、1 行文字数 35～40 字、1 ページ
行数 35～40 行
- 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい。
- 3) 推薦理由 箇条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい。
箇条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい。
- 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合 5. 資料はコピーなどを添付して下さい。
- 5) 様式 2 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合 5. 業績リストは研究業績の別刷り（コピー
可）を添付して下さい。

学会賞審査委員会からのお知らせ

日本沙漠学会若手会員のみなさんへ

学会賞担当理事 的場 泰信
児玉 香菜子

日本沙漠学会では「奨励賞」「ベストポスター賞」など、若手研究者のみなさんを対象とした賞を設けています。

奨励賞

- 乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与されます。
※ 『沙漠研究』に掲載された論文や研究業績に基づき、学会員の推薦を受けて審査されます。
- 満35歳以下の若手会員を対象としています。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

ベストポスター賞

- 研究内容、表現や説明技術、熱意などが優れているポスター発表に対して授与されます。
- 学術大会でポスター発表をする満35歳以下の学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の会員が対象となります。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

メリット① 自分の研究について知ってもらえる

受賞者の研究は、学術大会だけでなくホームページなどで紹介されるので自分の研究について多くの人に知ってもらえる機会になります。

メリット② 履歴書に書ける

「奨励賞」「ベストポスター賞」をもらったら、履歴書の賞罰の欄に書くことができるので、就職活動にも役立ちます。

日本沙漠学会に所属する若手会員の皆さん
全員にチャンスがあります！

学術大会で発表した人は、ぜひ
沙漠研究に論文を投稿しましょう！

【問い合わせ先】日本沙漠学会 学会賞審査委員／E-mail：jaals@kyouritsu-online.co.jp

学会記事

日本沙漠学会第 159 回理事会

日 時：2023 年 7 月 29 日（土）14：00～16：30

会 場：月島区民館 3 号室洋室およびオンラインのハイブリッド開催

出 席：森尾貴広（会長）、島田沢彦、田中徹（以上、副会長）、渡邊三津子（以上、監事）、矢沢勇樹、渡邊文雄、川端良子、酒井裕司、石川祐一、入江光輝、児玉香菜子、的場泰信、鈴木伸治、真田篤史（以上、理事）、安部征雄、小島紀徳、豊田裕道、森卓（以上、顧問）、篠原卓（以上、総務委員）、齋藤哲治（事務局）

議 題：

I. 審議事項

1. 今後の理事会の開催方法について（対面／オンライン）
 - ・森尾会長から、例年 5 回開催される理事会の開催方法の基本方針について以下の通り提案が、承認された。
 - 4 月：評議員会との同日開催であるためハイブリッド
 - 5 あるいは 6 月：学術大会の開催地で行うため多くの理事が集まっているため対面
 - 7 月：総会後であり、また秋季シンポジウム前の最後の理事会で議事が多いことから、ハイブリッド
 - 10 月：比較的議事が少ないためオンライン
 - 1 月：比較的議事が少ないためオンライン
2. 沙漠学事典の英語版について
 - ・森尾会長から、沙漠学事典の英語版の出版を検討するに至った経緯について説明があった。
 - ・矢沢財務担当理事から、財務の面でどのような執行計画を立てるべきなのか質問があった。渡邊財務担当理事から、まずは企画を立てた上で予算を計上し、次回の総会での承認を得る必要があることが説明された。
 - ・矢沢財務担当理事から、英語版であれば国際メンバーも含めて作成してはどうかと意見があった。
 - ・森尾会長から、作成にあたっては事典的なものなのかレビュー集なのか、また会員にとってどのようなメリットがあるかも含めて企画を検討する必要があることが説明された。
 - ・森尾会長から、まずはワーキンググループを立ち上げることが提案され、承認された。また、ワーキンググループの代表者として石川企画担当理事が推薦され、本人から承諾を得た。ワーキンググループの

メンバーは、会長や顧問、現理事のうち沙漠学事典の各章の編集責任者であったメンバーを中心に構成する。

- ・今後のスケジュールとして、出版する方向で進める場合は、総会で方向性と企画の案を 4 月の評議員会、5、6 月の総会で企画の方向性や案を諮ることを目標とする。

II. 報告事項

1. 2023 年度総会（役員改正含む）および 2023 年度学術大会（宮崎）報告
 - ・鈴木総務担当理事から、2023 年度総会が 5 月 27 日に宮崎で行われた第 34 回学術大会の際に開催され、定足数を満たし、すべての議題について承認されたことが報告された。
 - ・総会では、学会誌のオンライン化や年度末の合本号冊子刊行について質問があり、意見交換が行われた。矢沢財務担当理事から、J-Stage に掲載されている論文へのアクセスが難しいケースも一部あるなど、会員が十分にサービスを受けられる環境整備について見直しが必要ではないかと意見があった。森尾会長から、学会誌オンライン化へのこれまでの経緯が説明された後、abstract のウェブ以外での掲載の検討などの案が示された。島田副会長から、おあしすの表紙に投稿論文の情報や追加的な写真を掲載し、論文へのリンクもつけて、論文へのアクセスをしやすような対策を既に始めていることが説明された。森尾会長からも、小特集なども含めて毎号掲載されている論文に関する情報をおあしすに掲載し、おあしすから論文にリンクできる取り組みを継続することが確認された。なお、川端編集担当理事から、この議論の背景に紙媒体での製本と配布を求める意図が考えられるが、現状としてそれは難しいことが説明された。
 - ・総会で、分科会の在り方についても検討依頼があった。近年の活動実績がない分科会・研究会について、森尾会長から分科会長に活動状況や今後の活動予定を問い合わせることとなった。矢沢財務担当理事から、他の分科会についても、交付金の配分、賛助会員の有無についても見直しや整理が必要ではないかと提案があった。分科会の活動は、秋季シンポジウムなど発表会がメインとなっており、沙漠学会の会員でなくても参加が可能である。それらの発表内容を沙漠研究に投稿してもらうことを見据え、分科会の活発な活動を後押しし、沙漠学会への会員の呼び

込みに繋げられれば良い。今後の新規研究会の公募などを想定して、予算を確保することとなった。また、学会や分科会の枠にとらわれず、若手からの意見も募り、外部スピーカーも対象に講演会などを開催するなどのために、企画委員会に若手会員を追加してはどうかと提案があった。石川企画担当理事と入江企画担当理事を中心に、この点についても今後検討を進めることとなった。

- ・入江大会実行委員会委員長から、第34回学術大会について報告された。参加者は44名であり、口頭発表は14件、ポスター発表は13件であった。様々な地域を対象とした研究報告が行われ、留学生の発表報告も多く行われた。また、ポスター発表や公開シンポジウム、エクスカッションや懇親会なども行われた。講演会の開催費用の一部は、MICEの補助を受けて支出された。

2. 予算執行状況報告（会員動向含む）

- ・矢沢財務担当理事から、財務状況についての報告があった。また、オンライン会議での使用を目的としてオンラインマイクを購入したことが報告された。
- ・渡邊財務担当理事から、学会備品や消耗品等の購入手続きについて確認があった。

3. 投稿論文査読状況報告

- ・川端編集担当理事、投稿論文の審査状況について報告があった。
- ・沙漠研究33巻1号は、秋季シンポジウムの内容を小特集として掲載し、刊行済みである。
- ・沙漠研究33巻2号は、原著論文がすでに1報分掲載決定済みである。
- ・沙漠研究33巻3号以降は、原著論文やDT15の論文集を掲載予定である。
- ・矢沢財務担当理事から、論文投稿者は紙媒体別刷りも注文可能か質問があった。川端編集担当理事から、有料ではあるが可能であることが説明された。

4. 学会賞審査委員会報告

- ・鈴木総務担当理事から、おあしす内の学会賞受賞候補者推薦依頼文書を新委員名を反映させて修正した

ことが報告された。

- ・的場学会賞担当理事から、学会賞候補者を推薦するための委員会の設置の検討について説明があった。
- ## 5. 秋季シンポジウム進捗
- ・沙漠工学分科会の鈴木幹事から、11月25日（土）東京農業大学世田谷キャンパスで開催することが報告された。
- ## 6. 2024年度学術大会進捗
- ・渡邊大会委員長から、2024年度学術大会の準備状況について報告された。
- ## 7. DT報告／進捗
- ・森尾会長から、DT16の準備状況について報告された。
 - ・DT16は、2025年に筑波で開催予定で、日本沙漠学会学術大会との同時開催も視野に入れて準備を行う。
 - ・DT17は、南アフリカのキンバリーで開催予定である。
- ## 8. おあしす
- ・鈴木総務担当理事から、おあしす33巻1号について原稿の内容を確認するよう依頼があった。

III. その他

- ### 1. 今後の学術大会の運営方法について
- ・森尾会長から、大会オーガナイザーの負担を軽減させることを目的として、企画担当理事と大会の運営委員会の連携・作業分担を行うことが提案された。
 - ・会場予約などは運営委員会に頼らざるを得ないが、大会参加費の徴収、参加登録の受付、名簿の整理などは事務局で行う案が示され、今後そのような方向で作業分担を進めていくことが承認された。
- ### 2. 渡邊財務担当理事から、理事会や評議員会の開催方法や総会の定足数などについて、改善と細則への明文化の提案があった。
- ### 3. 渡邊財務担当理事から、理事会や評議員会の開催方法や総会の定足数などについて、改善と細則への明文化の提案があった。

学 会 事 務 局

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

【日本沙漠学会事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2 F 株式会社共立内
Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 Email : jaals@kyouritsu-online.co.jp

【日本沙漠学会編集事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2 F 株式会社共立 三角誠司気付
Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 E-mail : jals.editorial@gmail.com

【日本沙漠学会ホームページアドレス】

<http://www.jaals.net/>

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

該当者なし

●退会会員

正会員

山中 典和 (ID : 1112)

***** 賛助会員・団体会員名簿 *****

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel : 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel : 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	136-0071	東京都江東区亀戸 1-42-20	Tel : 03-6892-3401
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel : 0424-95-1060
